

## てがたんレポート Vol. 3 No. 9 (2006年9月：通巻30号)

★観察コース：①鳥の博物館（受付と今日の予定確認）→鳥博前3.5.15号線沿いに香取神社→田んぼを横切り遊歩道→遊歩道沿いに釣り堀前カツラの広場（まとめと解散）、  
②鳥の博物館→鳥の博物館駐車場前の水田→遊歩道→遊歩道沿いに釣り堀前カツラの広場

★観察日時/天気：2006年9月9日（土）10:00～12:00/くもり

★参加人数：20人

★観察案内&記録：

- ・ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：伊東茂子、小野寺喜四郎、楠本直子、楠本吉弘、染谷迪夫、弘寛さと子、古川克彌
- ・鳥博職員：時田賢一、斉藤安行、岡廣志

今回のテーマ  
・田んぼの植物観察  
・トンボを見よう

### 観察記録—みんなで観察した生き物リスト—

#### ★観察した生き物

【鳥類】カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、カルガモ、キジバト、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、（外来種や家禽）バリケン

#### 【虫】

- ・チョウの仲間：クロアゲハ、カラスアゲハ、ナガサキアゲハ、アゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、キタテハ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、イチモンジセセリ、キマダラセセリ、ツバメシジミ、ルリシジミ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ウラギンシジミ、サトキマダラヒカゲ、ウラナミジャノメ？、ヒメジャノメ
- ・チョウやガの幼虫：キイロスズメ、アメリカシロヒトリ
- ・甲虫の仲間：アトボシアオゴミムシ
- ・ハチの仲間：クロアナバチ、コガタスズメバチ（巣もあり）
- ・カマキリの仲間：ハラビロカマキリ、チョウセンカマキリ
- ・バッタの仲間：コバネイナゴ、クルマバッタモドキ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ（以上バッタの仲間）、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギの声（以上コオロギの仲間）、クビキリギス（以上キリギリスの仲間）
- ・トンボの仲間：ノシメトンボ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、ウチワヤンマ、チョウトンボ、アジイトトンボ、アオモンイトトンボ

#### 【クモ】

オニグモ、ナガコガネグモ、ジョロウグモ

#### 【そのほかの動物】

ニホンアマガエル（両生類）

#### 【花】

- ・黄色：スベリヒユ、チョウジタデ、オオジシバリ、イヌガラシ、コセンダングサ
- ・青色：トキワハゼ、スズメノトウガラシ、キュウリグサ、コナギ、カントウヨメナ
- ・赤・紫色：ミズヒキ、ツルマメ、イヌタデ、ヘクソカズラ、エノキグサ、クズ、ヤマハギ（植栽）、サルスベリ（植栽）
- ・白色：オモダカ、セリ、タカサブロウ、アメリカタカサブロウ、ヌスビトハギ
- ・その他：ホソバアオゲイトウ（ヒユ科）、ヨモギ（キク科）、エノキグサ（トウダイグサ科）、アレチギシギシ（タデ科）、ヤブガラシ（ブドウ科）、コゴメガヤツリ、コアゼガヤツリ、キンガヤツリ、カヤツリグサ、タマガヤツリ、ヒデリコ（以上カヤツリグサ科）、スズメノヒエ、ケイヌヒエ、イヌヒエ（以上イネ科）、コガマ、ヒメガマ（以上ガマ科）、オオオナモミ（キク科）

#### 【実】

ホウチャクソウ、サンショウ、アオキ、シラカシ、ヨウシュヤマゴボウ

# 9月の観察アルバム



①アカバナ (マツヨイグサの仲間を含むアカバナ科の代表)



②セリに産卵中のキアゲハ



③クズの花



④ツルマメの花 (大豆の原種と考えられています)



⑤エノキグサの花



⑥キイロスズメの幼虫



⑦田んぼの中のイヌビエ



⑧ホソバアオゲイトウ

## 似たもの同士を比べてみました



⑨アメリカタカサブロウ



種子の形のちがいに注意!!



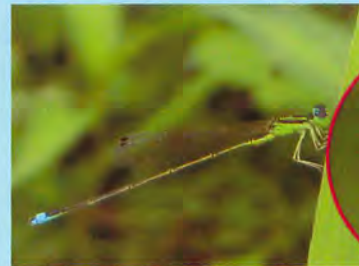
⑩タカサブロウ



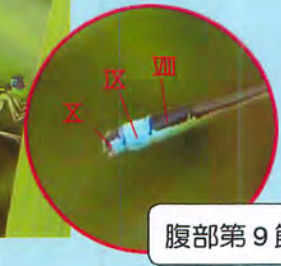
⑪アオモンイトトンボ



腹部第8節が青色



⑫アジアイトトンボ



腹部第9節が青色

⑬香取神社の参道の脇には、ヌスビトハギとハエドクソウの花が咲いていました。

⑭釣り堀付近のカツラの植栽樹に、コガタスズメバチが巣をつくっていました。

⑮田んぼのあぜを、アトボシアオゴミムシが歩いていました。

⑯参加者からオナガガモ渡来のお知らせを聞き見に行ったところ、オナガガモが2羽渡来していました。

